

令和7年度 事業報告書

(期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

社会福祉法人 明石市社会福祉協議会

社会福祉法人 明石市社会福祉協議会

令和7年度 事業報告

令和7年度 事業報告

■ 社会福祉事業区分

I 法人運営事業拠点区分	6 頁
II 地域・ボランティア活動事業拠点区分	16 頁
III 共同募金配分金事業等拠点区分	30 頁
IV 基幹相談支援センター拠点区分	36 頁
V 後見支援センター拠点区分	42 頁
VI 地域活動支援センター事業拠点区分	50 頁

■ 公益事業区分

I 総合福祉センター管理運営事業拠点区分	54 頁
II 総合福祉センター新館管理運営事業拠点区分	58 頁
III 地域総合支援センター事業拠点区分	62 頁



マークの記載がある事業は、共同募金の配分金を活用して実施した事業です。

令和7年度 重要事業の取組

活動目標1 「住民と一緒に考え、誰もが参加できる地域福祉活動のしくみづくり」への取組

令和8年度より新たな計画期間となる「明石市社会福祉協議会 第4次地域福祉活動計画」の策定を進めました。策定にあたり、ボランティア・地域福祉活動者へのアンケート調査をはじめ、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、本会役員等へのヒアリング、さらには住民ワークショップを重ねるなど、対話の場を重視したプロセスを歩むとともに、職員自身が社協の役割を考え直す機会とするよう努めました。本会職員が部署を超えた協力体制を築きながら、地域の声を丁寧に汲み取り、計画へと反映させたことで、住民・関係機関・本会が共に歩む指針となる計画策定を行うことができました。

地区担当職員（生活支援コーディネーター）を地域支援課へ集約する新体制へと移行した中で、各地区で取り組まれる様々な活動に伺い、活動の内容、活動者の想いを知り、地区担当職員同士で逐一共有することで、支援体制の向上を図りました。地区に伺う中で得られた知見やネットワークを、ボランティアセンターでの相談調整や、活動希望者への情報提供に活かすなど、地域支援とボランティア・地域福祉活動支援の連動性を高める基礎作りを行いました。

また、地域で取り組まれる様々な活動と社会福祉法人が取り組む地域貢献活動を、互いに知り協働を考えられる場として「地域福祉フォーラム」を開催し、将来的な協働体制の構築に向けた基盤を整備しました。具体的な実践では、社会福祉法人との協働によるボランティア養成講座を開催し、受講生が施設での継続的な活動へと発展する仕組みづくりに努めました。

さらに、災害時の支援体制強化を目的として、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施しました。訓練に先立ち、倉敷市社会福祉協議会から講師を招いた事前研修会を開催し、被災地での実務経験に基づいた運営の注意点や閉所後を見据えた対応について深く学ぶ機会を設けました。訓練当日は、事前登録ボランティアの皆さんに対して、災害ボランティアセンターの機能説明を行い、受付からマッチング、模擬活動、活動報告に至る一連の流れを実践形式で検証し、役割の明確化と運営上の課題抽出を行いました。さらに、新たな試みとして、長坂寺自治会と協働した災害ボランティアセンターサテライト設置訓練を実施し、住民との協働運営に向けた理解促進を図るなど、住民が中心となるネットワークの構築を推進しました。

活動目標2 「住民の声を受け止め、寄り添う、包括的な相談支援体制の構築」への取組

地域で暮らす高齢者や障がい者、認知症の方やその家族、ヤングケアラー等複雑化・

複合化した課題を抱える住民や世帯に適切な支援が行えるよう、多機関や地域住民との協働による包括的な相談支援体制を構築する取組を行いました。

個別相談から課題解決に向けて、地域ケア個別会議を開催し、機関間の相互理解を促進するよう多機関で共有や協議を進めました。多機関でのネットワーク構築が困難な場合には地域総合支援センターが多機関協働事業者として支援会議を開催し、支援方針と役割分担を確認してスムーズなケース支援ができるよう働きかけました。必要な場合には多機関協働事業者として再アセスメントをし、アウトリーチや参加支援等の伴走支援を継続的に行っています。

あわせて職員のスキルアップを図るため、昨年度に引き続き本人の「生活のしづらさ」に焦点を当てた個別相談を強化するため相談面接力向上研修を実施しました。

また、個人情報保護法を遵守しつつ、相談内容を職員間で共有して適切に支援を行うために、経過記録の書き方についての研修を2回実施しました。研修後のアンケートには、これまで「記録」についての研修を受けたことがなかったので、この研修で新たな気づきを得たとの意見が多くありました。更に、対人援助職者として、様々な利用者や関係機関とのコミュニケーションを円滑に行い、信頼関係を構築する力を高めるために、アンガーマネジメント研修を行いました。自身の怒りの原因・傾向や怒りを感じたときの対処法を学び、全職員で自身が取り組むことを決めて実践しております。

活動目標3 「地域共生社会の伴走者であり続けるための、明石市社会福祉協議会の体制強化」への取組

職員採用に向けた取組として、令和6年度から検討チームを立ち上げて就職説明会を開催しています。令和7年度の就職説明会（5月10日）には32名が参加し、ワールドカフェ方式により各課の説明や先輩職員との懇談を行うなど、仕事の魅力や就職後の自分自身のキャリアアップについて参加者にPRしました。また、3月7日には、兵庫県社会福祉協議会が主催する「福祉の就職総合フェアin HYOGO」に出展し、本会での仕事の魅力を発信することができました。これらの取組を通して、人材確保や採用後の仕事のミスマッチによる離職防止を図っていきます。

自主財源の確保や自主事業の展開として、令和8年度の実施に向けて、返礼品付き社協会費制度の取組を進めました。これは、一口2,000円以上の特別会費を、二口4,000円以上納めていただいた個人の方に対して、就労支援事業所などで商品の引換券として利用できるTaCCoTaCCo応援券を返礼品として配付するもので、この取組を通して、地域福祉活動の更なる充実や自主財源の強化、障害福祉サービス事業所などの活動の周知を図っていきます。

総合福祉センターの充実については、令和7年度から明石養護学校への温水プール貸出しを開始し、利用者の拡大に努めました。

法人単位資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	会費収入	11,724,000	9,865,436	1,858,564
	寄附金収入	2,000,000	1,360,094	639,906
	経常経費補助金収入	152,810,000	136,693,141	16,116,859
	受託金収入	337,164,000	312,820,353	24,343,647
	貸付事業収入	15,984,000	11,913,786	4,070,214
	事業収入	1,400,000	807,000	593,000
	介護保険事業収入	673,167,000	649,721,573	23,445,427
	障害福祉サービス等事業収入	25,096,000	23,572,274	1,523,726
	受取利息配当金収入	13,000	268,161	△ 255,161
	その他の収入	442,000	1,130,234	△ 688,234
	事業活動収入計 (1)	1,219,800,000	1,148,152,052	71,647,948
	支出			
	人件費支出	936,912,462	891,541,604	45,370,858
施設整備等による収支	事業費支出	155,546,097	142,176,685	13,369,412
	事務費支出	73,178,297	59,158,282	14,020,015
	貸付事業支出	6,000,000	3,844,000	2,156,000
	助成金支出	34,085,000	26,956,939	7,128,061
	事業活動支出計 (2)	1,205,721,856	1,123,677,510	82,044,346
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	14,078,144	24,474,542	△ 10,396,398
	収入			
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出			
	固定資産取得支出	10,662,000	9,660,800	1,001,200
	固定資産除却・廃棄支出	95,000	58,300	36,700
	ファイナンス・リース債務の返済支出	4,760,000	4,754,376	5,624
	施設整備等支出計 (5)	15,517,000	14,473,476	1,043,524
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 15,517,000	△ 14,473,476	△ 1,043,524
その他の活動による収支	収入			
	長期運営資金借入金収入	5,000,000	5,607,000	△ 607,000
	積立資産取崩収入	5,251,000	14,915,354	△ 9,664,354
	その他の活動収入計 (7)	10,251,000	20,522,354	△ 10,271,354
	支出			
	長期運営資金借入金元金償還支出	5,000,000	5,000,000	0
	長期貸付金支出	634,000	607,000	27,000
	積立資産支出	30,081,144	28,847,086	1,234,058
	その他の活動による支出	55,000	54,400	600
	その他の活動支出計 (8)	35,770,144	34,508,486	1,261,658
予備費支出 (10)	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 25,519,144	△ 13,986,132	△ 11,533,012
	予備費支出 (10)	3,000,000	0	3,000,000
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 29,958,000	△ 3,985,066	△ 25,972,934
前期末支払資金残高 (12)		99,532,000	134,638,320	△ 35,106,320
当期末支払資金残高 (11) + (12)		69,574,000	130,653,254	△ 61,079,254

■ 社会福祉事業区分

I 法人運営事業拠点区分

1 法人運営事業

複雑・多様化する生活課題に対応できるよう法人運営体制の強化、人材確保等に努めました。

1) 組織運営

理事会・評議員会・各種委員会等を通じて、各選出団体の代表である役員等からの意見聴取を行い、本会の各事業の検証や改善に努めました。

【理事会・監事監査】

会 議 名	開催日等	主 な 議 案	出席人数
監事監査	5月27日	・令和6年度事業報告及び決算監査	監事3名 理事2名
第46回理事会	6月6日	・令和6年度事業報告及び決算 ・理事長専決額を超える契約 ・次期理事候補者の推薦 ・次期評議員候補者の推薦 ・第31回評議員会の開催通知	理事9名 監事3名
第47回理事会	6月23日	・理事長の選定 ・副理事長及び常務理事の選定 ・評議員選任・解任委員会委員の選任	理事10名 監事2名
第48回理事会	11月27日	・理事長専決額を超える契約	理事9名 監事3名
第49回理事会 (書面決議)	提案日 1月16日 議決日 1月26日	・後任理事候補者の推薦 ・後任評議員候補者の推薦 ・第32回評議員会の開催通知	全理事11名の同意 全監事3名の異議無の回答
第50回理事会	3月11日	・第4次地域福祉活動計画の策定 ・令和8年度事業計画及び当初予算 ・諸規程の改定 ・理事長専決額を超える契約 ・生活福祉資金に係る運営資金の借入 ・役員等賠償責任保険契約の締結 ・第33回評議員会の開催通知	理事12名 監事3名

第51回理事会 (書面決議)	提案日 3月26日 議決日 3月26日	・ 副理事長の選定 ・ 後任理事候補者の推薦 ・ 事務局長の選定	全理事12名の同意 全監事3名の異議無の回答
-------------------	------------------------------	--	---------------------------

【評議員会】

会 議 名	開催日等	主 な 議 案	出席人数
第31回評議員会 (定時評議員会)	6月23日	・ 令和6年度事業報告及び決算 ・ 次期理事の選任	評議員16名 理事4名
第32回評議員会 (書面決議)	提案日 1月28日 議決日 2月10日	・ 後任理事の選任	全評議員 19名の同意
第33回評議員会	3月27日	・ 令和8年度事業計画及び当初予算 ・ 後任理事の選任	評議員16名 理事4名

【評議員選任・解任委員会】

委 員 会 名	開催日等	主 な 議 案	出席人数
評議員選任・解任委員会	6月17日	・ 次期評議員の選任	委員5名
評議員選任・解任委員会 (書面決議)	提案日 1月28日 議決日 2月5日	・ 後任評議員の選任	全委員5名の同意

【各種委員会】

委員会名	開催日等	主 な 議 案	出席人数
企画財政総務委員会	2月26日	・令和8年度事業計画及び当初予算 ・第50回理事会提出議案	4名
募金等配分検討委員会	8月7日	・委員長・副委員長の選任 ・公募配分事業の実施要綱策定について (令和7年度公募配分事業、令和7年度こども版公募配分事業、災害時の移動サポート用具購入)	4名
	2月16日	・赤い羽根共同募金及び善意銀行 令和8年度公募配分事業審査及び公募配分の決定について	5名
職員懲戒処分等検討委員会	9月24日 10月21日 10月31日	・委員長・副委員長の選任 ・職員の懲戒処分について	4名 4名 4名

2) 規程等の改正

規 程 名	改 正 内 容	会 議 名・施 行 日
正規職員給与規程	本会の給与体系等が明石市に準じており、市において地域手当の見直しがあったことから、規程の一部を改正するもの	第50回理事会 3月11日 施行日 令和8年4月1日

3) 社協会員募集

住民や福祉団体等に対して、普通会費・特別会費・団体会費への協力を依頼し、本会及び地区社会福祉協議会の活動に必要な自主財源の確保に努めました。

また、会費の使いみちや本会の取組を皆様に理解していただけるよう、地域で行われる会議において説明を行うとともに、広報紙「あかしの社会福祉」による広報活動を行いました。

【会費実績】

普通会費 (120円／世帯)	特別会費 (2,000円／口)	団体会費 (5,000円／口)	合 計
8,324,270円	946,046円	595,120円	9,865,436円

4) 人事労務・人材育成

本会職員が中心となった組織体制の構築に向け、採用試験や研修、適切な職員配置を実施し、人事管理や人材育成に努めました。

人材確保や離職対策が課題であることから、5月10日には本会独自の就職説明会を開催しました。また、3月7日には兵庫県社会福祉協議会主催の「福祉の就職総合フェアin HYOGO」に出展し、社協職員としての仕事の内容や魅力について参加者にPRしました。

【就職説明会】 開催主体：明石市社会福祉協議会

開催日時・場所	申込者数	キャンセル者数	参加者数
5月10日13時30分～16時 総合福祉センター3階大会議室	36名	4名	32名

【福祉の就職総合フェアin HYOGO】 開催主体：兵庫県社会福祉協議会

開催日時・場所	フェア全体 参加者総数	本ブース 訪問者数
3月7日13時～16時30分 神戸国際展示場2号館	201名	9名

【在職職員数】

(令和8年3月31日現在)

正規	市派遣	嘱託	契約	合計
80名	10名	5名	57名	152名

5) 広報啓発

広報啓発では「地域福祉活動の見える化」に取り組んでいます。本会の活動に加え、住民主体の地域づくりの理解を広げるために、ボランティア、サロン活動等を啓発するなど、新たな支援者の獲得に向けて取り組みました。

また、ボランティア活動や地域福祉活動の「魅力」や「楽しさ」を知ってもらうため、様々な場面での情報発信の充実に取り組みました。具体的にはホームページの情報掲載に加え、インスタグラムによる周知を始めました。日常的な業務の中から地域の魅力を発信しています。

2 善意銀行運営事業

住民、企業、団体等からの善意で寄せられた寄付金及び寄付物品について、地域で福祉活動に取り組まれる団体、支援機関や福祉事業所などへの配分を実施し、地域社会に善意が還元される橋渡しを行いました。

フードドライブ事業では、生活協同組合コープこうべ、株式会社ダイエー（ＫＯＨＹＯ明舞店）を中心に、企業、住民から寄付された食料品を、相談支援機関や地域福祉活動団体などに配分し、生活困窮世帯等の支援に寄与しました。また、火災等で被災された住民の方に対して、見舞金の配付を行いました。

【預託実績】

種 別	件数	内 容	寄 付 目 的 の 内 訳
金 銭	45件	978,094円	個人、匿名での定額寄付、企業・地域団体からの寄付 等
物 品	110件	食料品、日用品、衣類、衛生用品 等	個人や企業からの善意による寄付

【払出実績】

種 別	件 数	内 容	払 出 先
金 銭	(公募) 3 件	126,000円	・ NPO法人明石ともしび会 ・ 明石市障害当事者等団体連絡協議会（あすく（ＡＳＫ）） ・ 緑ヶ丘ふれあいサロン「ルンルン」
	(見舞金) 3 世帯	50,000円	災害等により被災された世帯
物 品	74件	食料品、日用品、衣類、衛生用品 等	ボランティア団体、NPO法人社会福祉法人、保育施設 等

【フードドライブでの支援実績】

払 出 先	件数	配分食材	重量
相談支援機関 等	187件	米、調味料、 乾麺類、レトルト食品 等	—
譲渡会（9月）	27件		531.0kg
譲渡会（2月）	12件		589.0kg

3 資金貸付事業

県社協及び明石市より受託した事業で、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を構築することを目的に取り組みました。

令和5年度に実施した新型コロナウイルス特例貸付の借受世帯に対する実態調査アンケートの回答結果では、不安に感じることとして「家計管理」「健康」「介護」を回答する世帯が多かったことから、昨年度に引き続き、地域の身近な場所で「福祉に関する生活相談会」を実施しました。

コロナ禍において、明石市の補助事業で実施した生活資金貸付事業や学業資金貸付事業の償還事務については、借受住民・世帯の生活状況に配慮しながら、返済猶予等の事務を行いました。

【県社協からの受託事業】

事 業 名	申請件数	貸付件数	貸付金額
生活福祉資金貸付事業 ・福祉資金・教育支援資金	18件	18件	27,774,000円
総合支援資金貸付事業	0件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0円
緊急小口資金貸付事業	7件	6件	414,000円

【明石市からの受託事業】

事 業 名	申請件数	貸付件数	貸付金額
生活保護家庭生活福祉資金 貸付事業	342件	342件	4,550,000円

【明石市の補助事業】

事業名	貸付件数 (決定時)	完済件数（うち 令和7年度）	償還中	期限未到来・ 返済猶予等
生活資金貸付事業	17件	3件(2件)	11件	3件
学業資金貸付事業	122件	29件(10件)	90件	3件

(※) 貸付の決定は、令和2年度に行ったもの（令和2年度の事業）

4 その他の取組

- ・後援名義の許可：12件
- ・安全衛生委員会開催：毎月1回開催（産業医による職場巡視、健康教室等）
- ・社会福祉士実習生の受入れ

期間：令和7年8月4日～9月19日まで 計24日間 3大学3名
神戸学院大学、武庫川女子大学、関西福祉大学
令和8年2月16日～2月26日まで 計8日間 1大学1名
関西福祉大学

法人運営事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入	会費収入	11,724,000	9,865,436	1,858,564
	普通会员会費収入	10,094,000	8,324,270	1,769,730
	特別会员会費収入	1,000,000	946,046	53,954
	団体会員会費収入	630,000	595,120	34,880
	寄附金収入	1,000,000	979,094	20,906
	經常経費寄附金収入	1,000,000	979,094	20,906
	經常経費補助金収入	120,065,000	106,170,187	13,894,813
	市補助金収入	99,008,000	88,406,237	10,601,763
	社協運営事業補助金収入	99,008,000	88,406,237	10,601,763
	県社協補助金収入	21,057,000	17,763,950	3,293,050
	生活福祉資金相談体制整備事業補助金収入	7,000,000	6,715,000	285,000
	生活困窮者支援体制強化事業補助金収入	14,057,000	11,048,950	3,008,050
	受託金収入	1,580,000	1,553,446	26,554
	市受託金収入	1,200,000	1,199,999	1
	地域福祉活動計画策定受託金収入	1,200,000	1,199,999	1
	県社協受託金収入	200,000	173,447	26,553
	生活福祉資金貸付事業受託金収入	200,000	173,447	26,553
	県民児連受託金収入	120,000	120,000	0
	民生委員顕彰碑管理受託金収入	120,000	120,000	0
	神戸市民協受託金収入	60,000	60,000	0
	民生委員顕彰碑管理受託金収入	60,000	60,000	0
	貸付事業収入	15,984,000	11,913,786	4,070,214
	償還金収入	6,000,000	4,291,200	1,708,800
	償還金収入(市緊急生活支援資金償還金)	9,984,000	7,622,586	2,361,414
	受取利息配当金収入	11,000	249,912	△ 238,912
	その他の収入	300,000	943,754	△ 643,754
	受入研修費収入	290,000	265,400	24,600
	雑収入	10,000	678,354	△ 668,354
	雑収入	10,000	678,354	△ 668,354
	事業活動収入計(1)	150,664,000	131,675,615	18,988,385
事業活動による収支	人件費支出	110,243,000	96,180,321	14,062,679
	役員報酬支出	166,000	74,571	91,429
	職員給料支出	61,156,000	56,606,974	4,549,026
	職員給料支出	42,807,000	38,419,018	4,387,982
	嘱託職員給料支出	4,985,000	4,870,826	114,174
	契約職員賃金支出	13,364,000	13,317,130	46,870
	職員賞与支出	23,298,000	17,215,135	6,082,865
	非常勤職員給与支出	1,000,000	943,440	56,560
	退職給付支出	8,632,000	8,628,325	3,675
	法定福利費支出	15,991,000	12,711,876	3,279,124
	事業費支出	7,233,000	7,175,134	57,866
	水道光熱費支出	12,000	11,484	516
	消耗器具備品費支出	32,000	21,420	10,580
	車輛費支出	110,000	64,629	45,371
	返還金支出	6,570,000	6,569,380	620
	諸謝金支出	315,000	314,621	379
	旅費交通費支出	194,000	193,600	400
	事務費支出	22,270,000	15,483,579	6,786,421
	福利厚生費支出	1,103,000	908,760	194,240
	旅費交通費支出	430,000	243,520	186,480
	研修研究費支出	683,000	339,800	343,200
	事務消耗品費支出	4,496,000	3,279,786	1,216,214
	印刷製本費支出	50,000	0	50,000
	水道光熱費支出	1,942,000	1,237,310	704,690
	修繕費支出	335,000	35,980	299,020
	通信運搬費支出	1,092,000	850,427	241,573
	会議費支出	45,000	29,846	15,154
	広報費支出	245,000	61,000	184,000
	業務委託費支出	5,821,000	4,849,592	971,408
	手数料支出	710,000	282,250	427,750
	保険料支出	170,000	153,660	16,340
	賃借料支出	1,879,000	1,023,855	855,145
	租税公課支出	1,000,000	170,603	829,397
	保守料支出	77,000	75,900	1,100
	渉外費支出	225,000	160,000	65,000
	諸会費支出	1,953,000	1,769,900	183,100

		雑支出	14,000	11,390	2,610
		雑支出	14,000	11,390	2,610
		貸付事業支出	6,000,000	3,844,000	2,156,000
		貸付金支出	6,000,000	3,844,000	2,156,000
		助成金支出	4,902,000	1,881,520	3,020,480
		助成金支出	4,902,000	1,881,520	3,020,480
		助成金支出	4,902,000	1,881,520	3,020,480
		事業活動支出計(2)	150,648,000	124,564,554	26,083,446
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	16,000	7,111,061	△ 7,095,061
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	3,730,000	2,894,980	835,020
		器具及び備品取得支出	3,730,000	2,894,980	835,020
		固定資産除却・廃棄支出	20,000	0	20,000
		器具及び備品除却・廃棄支出	20,000	0	20,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,580,000	2,579,280	720
		施設整備等支出計(5)	6,330,000	5,474,260	855,740
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 6,330,000	△ 5,474,260	△ 855,740
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	5,000,000	5,607,000	△ 607,000
		長期運営資金借入金収入	0	73,000	△ 73,000
		積立資産取崩収入	546,000	8,628,325	△ 8,082,325
		退職給付引当資産取崩収入	0	8,628,325	△ 8,628,325
		固定資産購入積立資産取崩収入	546,000	0	546,000
		事業区分間繰入金収入	0	194,480	△ 194,480
		その他の活動収入計(7)	5,546,000	14,429,805	△ 8,883,805
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	5,000,000	5,000,000	0
		長期貸付金支出	634,000	607,000	27,000
		積立資産支出	3,990,000	3,987,820	2,180
		退職給付引当資産支出	3,958,000	3,956,846	1,154
		社会福祉事業推進基金積立資産支出	32,000	30,974	1,026
		拠点区分間繰入金支出	7,417,000	7,351,380	65,620
		その他の活動支出計(8)	17,041,000	16,946,200	94,800
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 11,495,000	△ 2,516,395	△ 8,978,605
		予備費支出(10)	3,000,000	0	3,000,000
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 20,809,000	△ 879,594	△ 19,929,406
		前期末支払資金残高(12)	82,121,000	101,200,363	△ 19,079,363
		当期末支払資金残高(11)+(12)	61,312,000	100,320,769	△ 39,008,769

Ⅱ 地域・ボランティア活動事業拠点区分

1 福祉まちづくり基金事業

1) ボランティア活動及び小地域福祉活動の推進

① ボランティア・福祉活動への助成

市内を主たる活動拠点とし、年間を通じて計画的かつ継続的に活動を行なっているグループに対して活動費の助成を行いました。

また、実地調査も兼ねた活動訪問を行い、活動状況を伺うとともに、活動中の不安や悩みなどに対する相談対応を行いました。

【助成実績】

助成金名	助成件数	助成金額
ボランティア福祉活動助成金（運営）	64件	2,978,000円
ボランティア福祉活動助成金（研修参加）	—	—
ボランティア福祉活動助成金（周年行事）	—	—
ボランティア福祉活動助成金（資機材購入）	1件	50,000円
つどい活動助成金	17件	401,038円
サロン活動助成金（福祉コミュニティ基金分）	116件	3,680,000円
サロン活動助成金（赤い羽根共同募金事業分）	23件	685,000円
合 計		7,794,038円

② ボランティア・市民活動災害共済事業

ボランティア活動中の万が一の事故に備えるため、ボランティア・市民活動災害共済などへの加入促進を図りました。また、加入時には事故防止の啓発と活動内容の把握に努め、ボランティアニーズの調整や新たなつながりづくりを意識した関わりを進めました。

【加入状況】

（兵庫県社会福祉協議会）

保 険 種 別		加入件数	加入者数
ボランティア市民活動災害共済	市民活動災害共済プラン	305件	3,637名
	天災危険補償プラン	10件	31名
ボランティア活動等行事用保険		27件	—
移送サービス交通傷害保険		1件	8名

(全国社会福祉協議会)

保 険 種 別		加入件数	加入者数
ボランティア活動保険	基本プラン	21件	199名
	天災・地震補償プラン	15件	148名
ボランティア行事用保険		199件	—
福祉サービス総合補償		8件	—
送迎サービス補償		2件	—

③ 永年ボランティア表彰の実施

市内で5年以上ボランティア活動に従事されている元気高齢者への功績を称えるため、74名の方に対して「永年ボランティア表彰」を行いました。受賞された方に対して第17回あかしボランティアフェスタで表彰式を行いました。

④ 地区社会福祉協議会の支援

地域福祉活動の中心的な役割を担う地区社協に対して、住民を対象とした福祉学習の計画的な実施依頼などを行い、地区の実情に応じた事業を進めるための基盤強化を図りました。また、社会福祉法人連絡協議会と関わりを持つ機会として「地域福祉フォーラム」を継続開催し、地区社協の取り組む活動を共有することで、地区内での協力体制を強化するきっかけとしました。

⑤ 明石市社会福祉法人連絡協議会事務局の運営

市内に所在する社会福祉法人と地区社協が関わりを持つ機会としての「地域福祉フォーラム」に参加し、地区社協・社会福祉法人双方の取組を共有したことで、今後の関わり方を考えるきっかけとしました。また、明石商業高等学校福祉科の生徒と若手施設職員の交流会を行い、若い現場職員の声が届けることで、福祉分野で働く不安を払拭し、魅力を正しく伝える機会となりました。

【加盟数】 市内28法人（47施設）

【運営会議等】

会議等	開催日	内容
役員会（第1回）	4月23日	2025年度の総会及び研修会について
監査	6月20日	決算内容等監査
総会	7月1日	2024年度事業報告、決算報告 2025年度事業計画、予算
研修会	7月1日	講演）地域貢献活動について 講師：武庫川女子大学 教授 松端 克文 氏 意見交換）地域貢献活動で上手くいっていること・悩んでいること
役員会（第2回）	11月7日	2026年度からの活動に向けて ・福祉避難所について考えるワーキング グループの設置について ・今後のほっとかへんネットあかしの方向性について
地域福祉フォーラムへの参加	12月3日	実践事例報告、意見交換
明石商業高等学校生徒との交流会	12月10日	明石商業高等学校生徒と若手施設職員との交流会（兵庫県社協主催）
役員会（第3回）	2月25日	2026年度の取り組み、総会について

⑥ 明石市保護司会事務局支援

明石市立総合福祉センター2階に設置している「あかし更生保護サポートセンター」を活動拠点として、更生保護支援活動を行っている明石市保護司会と連携し、「社会を明るくする運動」として、街頭啓発活動、啓発講演会、公開ケース研究会等の開催に協力しました。

2) ボランティア養成講座の開催

① ボランティア養成講座

ボランティア活動に興味・関心を持っていただき、活動参加の入り口を増やすことを目的に、下記の養成講座を開催しました。また、身近なボランティア活動の啓発を目的とした、「ボランティア体験教室」を、地域ボランティアグループ及びふれあいプラザあかし西と協働で実施しました。

【開催講座一覧】

講 座 名	実 施 日	会 場	内 容	受講者数	修了者数
はじめての手話講座	11月15日 から 12月6日 (計4回)	ふれあい プラザ あかし西	コミュニケーション手段の一つである手話を体験し、聴覚障がいのある方に対する理解を深める	7名	6名
入門講座 「はじめての 要約筆記」 ボランティア 養成講座	2月6日 及び 2月13日	明石市立 総合福祉 センター	聴覚障がい者（中途失聴・難聴者）に、話の内容や情報を文字で伝達する要約筆記の初歩的な技術を学ぶ	4名	3名
合 計				11名	9名

② 学生向けのボランティア・地域福祉活動体験

学生等の若者世代に、ボランティアや地域福祉活動への興味・関心を深めてもらうことを目的に、「第17回あかしボランティアフェスタ」にて、共同募金啓発ブースの運営サポートを、7名の学生に担っていただきました。当日は学生ならではの柔軟なアイデアが随所に活かされ、活気のあるブース運営ができました。

③ 社会福祉法人との協働によるボランティア養成講座

社会福祉法人 明石恵泉福社会（全1回、5名受講）、社会福祉法人博由社（全1回、5名受講）と協働し、高齢者・障がい者支援をテーマとしたボランティア養成講座を開催しました。講座受講後も、受講生と施設が独自に関係を築き、継続的なボランティア活動へと発展しています。

3) 福祉学習の推進

小学校等での福祉体験学習（点字、手話、車いすなど）を、ボランティアの協力を得て実施するとともに、障がい当事者団体に協力いただき、当事者と交流できる機会づくりの調整を行いました。

【実施状況】

区分	主催者	実施数	内 容					
			点字	手話	車いす	ガイドヘルプ	当事者との交流	精神障がいの理解
教育関係	幼稚園	1 園	—	1 園	1 園	—	—	—
	小学校	22校	9 校	9 校	18校	10校	13校	—
	高等学校	2 校	2 校	—	—	—	1 校	—

4) 明石市ボランティア連絡会との協働

明石市ボランティア連絡会の運営が円滑に進行するよう、役員などとの連携を密にし、明石市ボランティア連絡会が取り組む事業の支援及び運営の財政支援として助成金を交付しました。（助成金額：1,100,000円）

また、令和8年度に明石市ボランティア連絡会が設立50周年を迎えるため、周年事業等の実施に向けた側面支援を行いました。

① ボランティア連絡会諸会議の支援

会議の円滑化、事業の協働推進を目的として、各種会議に出席し、適宜相談に対応できるよう努めました。ボランティアフェスタ、校区ボランティア交流会の開催、各事業の継続などに関する相談支援を行いました。

（主な会議）

役員会（毎月）、代表者会議（7月、9月、12月、3月）、合同会議（6月）その他（適宜）

【ボランティアセンターグループ登録状況】

活動分野区分	主 な 活 動	グループ数	ボランティア数
技 術	障がいのある方や高齢者に対して必要な技術を生かした個人個人にあった支援活動	12 グループ	320名
地 域	小学校区や自治会単位のグループで地域住民の支援活動を目的に友愛訪問やサロン開催などの活動	23 グループ	659名
施設・環境	福祉施設や個人宅等への訪問、技術奉仕、自然保護や環境保全、清掃奉仕等の活動	13 グループ	160名
教 育	居場所づくりなど子育て支援や、教室の開催等学び支援	7 グループ	101名
文化・健康	特技・趣味を活かしニーズに応じた文化活動、健康促進・啓発などの健康づくり活動	14 グループ	159名
合 計		69 グループ	1,399名

② 校区ボランティア交流会の開催支援

同じ地域に住むボランティア同士が、活動分野を超えて地域内で関わり、協力体制を築くことを目的とした校区ボランティア交流会の開催を支援しました。防災やボランティア同士のつながりづくりについての意見交換をする校区が多く、日常的な関わり大切さについて改めて考えるきっかけとなりました。

【各校区ボランティアによる交流会開催報告】

校区	開催日	会場	参加 グループ数	参加者数
朝霧中	1月29日	あさぎり福祉センター	8 グループ	23名
大蔵中	9月2日	大蔵コミセン	5 グループ	35名
錦城中	2月14日	ウィズあかし	4 グループ	30名
衣川中	9月13日	衣川コミセン	7 グループ	35名

貴崎小	1月17日	貴崎みんなのひろば “よっといで”	7 グループ	52名
花園小	2月7日	西明石サポーティング ファミリー	7 グループ	42名
藤江小	9月27日	藤江小コミセン	12 グループ	26名
和坂小	11月22日	和坂小コミセン	8 グループ	51名
鳥羽小	10月8日	鳥羽小コミセン	6 グループ	38名
沢池小	2月14日	弁財天厚生館	8 グループ	35名
大久保小	11月1日	大久保小コミセン	14 グループ	44名
大久保中	9月25日	大久保コミセン	6 グループ	32名
山手小	1月25日	大久保北コミセン	7 グループ	37名
江井島中	11月29日	江井島コミセン	7 グループ	24名
高丘中	11月16日	高丘中央コミセン	10 グループ	56名
魚住東中	1月24日	魚住市民センター	11 グループ	24名
魚住中	10月19日	魚住市民センター	15 グループ	73名
二見中	7月26日	ふれあいプラザあかし西	8 グループ	37名
合 計			150 グループ	694名

③ ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室の支援

毎月開催の事務局員会議（ボランティアによる運営会議）、連絡会議（ふれあいプラザあかし西に入居する各組織が参加）に出席し、情報提供を行いました。また、「わくわくオータムフェスタ」では、ボランティア活動室でのコーヒー販売、点字の展示、縁日コーナーでのスーパーボールゲームなどをボランティアの皆さんとともに担いました。その他、兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の加入手続きを行う臨時窓口を開設し、活動室の利用促進を図りました。

④ あかしボランティアフェスタの開催

令和7年11月8日、明石市立総合福祉センター本館および新館にて、「第17回 あかしボランティアフェスタ」を開催しました。会場では、ボランティアグループによる活動紹介のポスター展示をはじめ、喫茶コーナー、模擬店、学生ボランティアによる赤い羽根共同募金の啓発ブースなど、多彩な催しを実施しました。参加者同士の和やかな交流が随所で見られ、終始アットホームな空気に満ちたイベントとなりました。あかしボランティアフェスタを通じて、地域社会におけるボランティアへの関心を高めるとともに、住民同士の新たなネットワークを構築する貴重な機会となりました。

5) ボランティアサポーターと協働した活動の推進

ボランティア活動の経験が豊富な方をボランティアサポーターとして委嘱し、ボランティア相談などの対応を協働で行いました。また、ボランティアサポーターで組織するボランティアサポーター協議会の定例会では、お互いの相談内容を共有するなど資質向上に関する取組を支援するとともに、相談対応力の向上を目指して、外部講師による研修や、楽しくボランティアをするための講演会をボランティア連絡会の会員も参加できる形で実施しました。

自主的な地区別勉強会では、地域活動での相談ブースの設置や地域のイベントに参加するなどボランティア活動の啓発を行いました。また、運営の財政支援として助成金を交付しました。（助成金額：300,000円）

【ボランティアサポーター協議会】

（委嘱者）25名

（ボランティアサポーターによる相談窓口）

・明石市立総合福祉センター	奇数月第4月曜日（不定期）	5回
・西明石サポーターファミリー	毎週月曜日から金曜日（随時開催）	242回
・コープ西明石 2階 笑くぼ	毎月第1、4金曜日	17回
・コープ大久保	毎月第3水曜日（随時開催）	11回
・魚住市民センター 2階 相談室	毎月第2水曜日	9回
・ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室	毎月第3木曜日	12回

6) 認知症の方等を支え合える取組の推進

本会が運用する要援護者見守りＳＯＳネットワークを通じて、外出中に道に迷う恐れがある高齢者や障がい者等の家族から登録の申出を受け、行方不明時に福祉関係専門職や民生児童委員等の特定協力者及びその他一般協力者へメールの一斉送信を行い、早期発見の一助としました。

【利用登録者、協力者、メール発信の状況】

利用登録者	特定協力者（※１）	一般協力者（※２）	メール発信回数
137名	305名	273名	3回

※１ 特定協力者：文字情報と写真を送信する協力者

※２ 一般協力者：文字情報のみを送信する協力者

【声かけ訓練の実施】

日 程	内 容
11月27日	28名の地域住民、地区に拠点がある事業所の専門職が参加されました。 おおくぼ総合支援センターと協働し、認知症の方役への声かけ、安心してお話していただく雰囲気を作り出す体験、グループワークによる意見交換を行いました。

2 ボランティア活動サポート事業

1) ボランティアセンターでの相談対応とボランティア登録の促進

サロン活動、ふれあい訪問活動、福祉学習、ボランティア・市民活動災害共済など、ボランティア活動に関する幅広い相談支援を行いました。相談の中で、ボランティア登録の促進を目指し、ボランティア・市民活動災害共済などの受付時に活動概要を伺うとともに、活動への訪問、ボランティアセンターへの登録を呼びかけました。

また、ボランティアの支援を必要とする個人や団体からの依頼を受け、個人ボランティア、ボランティアグループに対して調整を行いました。依頼を受ける際には、相談者のニーズだけでなく、生活状況や身体状況などを聞き取り、ボランティア以外の、多機関との連携を意識し、支援の輪が広がるようなつながりづくりに努めました。

【ボランティア等に関する相談件数】 429件（延件数）

【ボランティア新規登録件数】 （個人）15件 （団体）14件

【ボランティア依頼調整件数】 （個人）4件 （団体）23件

2) 災害時における連携体制の構築

① 災害ボランティア事前登録制度

災害時にボランティア活動が効果的に行えるよう、災害ボランティア事前登録制度の周知と登録の呼びかけを随時行いました。

【災害ボランティア登録状況】

個 人	団 体
100名	15団体

② 災害ボランティアセンターの充実

災害発生時における災害ボランティアセンター（以下「災害VC」と記載。）の円滑な運営を可能とすることを目的に、2月8日に、災害VC立ち上げ訓練を実施しました。今回の訓練では、災害ボランティア事前登録者に対して、災害VCの機能と災害ボランティアの活動受付から活動終了までの流れを説明した後に、受付・オリエンテーション・活動マッチング・送り出し・模擬活動・活動報告までの実際の流れに沿った実践訓練を行いました。訓練を通じて、事前登録者をお願いしたい役割の明確化を図りながら、今後の改善点抽出を行いました。また、新たな取組として、災害VCサテライト設置訓練を長坂寺自治会と協働で実施しました。災害VCの機能説明を行い、住民の皆さんと一緒に運営することができる災害VCについての理解促進を図りました。

加えて、災害VC立ち上げ訓練に先立ち、災害ボランティア事前登録者及び職員向けの研修会として、実際に災害VCを立ち上げた経験がある、倉敷市社会福祉協議会の方を講師に招き、運営に関する注意点や災害VC閉所後を見据えた動き方について学ぶ機会を設定しました。

3 ふれあい会食事業

身近な地域での見守り活動のひとつとして、各地区月2回のふれあい会食を、ボランティアの協力を得ながら実施しました。会食形式での開催のほか、参加されなかった方への安否確認のための訪問など、各会場で工夫を凝らした取組を支援しました。

【実績】

中学校区	朝霧	大蔵	衣川	望海	野々池	大久保	大久保北	高丘	魚住東	合計
会場数	3か所	2か所	7か所	2か所	3か所	1か所	1か所	3か所	2か所	24か所
食数	910食	636食	660食	1,162食	1,290食	0食 (※)	300食	1,878食	420食	7,256食
ボランティア数	31名	35名	50名	61名	67名	5名	6名	33名	9名	297名

※大久保地区は休止中

4 意思疎通支援者養成事業

明石市からの委託を受け、音声訳及び点訳ボランティアの養成講座を開催しました。

【実績】

講座名	実施日	会場	内 容	受講者	修了者
点訳ボランティア養成講座	10月2日から 11月20日 (全8回)	明石市立総合福祉センター	視覚障がいのある方への点字による情報提供である、点訳技術を基礎から学び、その後のボランティア支援活動に結び付ける	5名	5名
音声訳ボランティア養成講座	9月1日から 12月1日 (全10回)	明石市立総合福祉センター	視覚障がいのある方への音声による情報提供である、朗読技術を基礎から学び、その後のボランティア支援活動に結び付ける	12名	5名
合 計				17名	10名

5 安否確認事業

1) 安否確認訪問

75歳以上のひとり暮らし高齢者で見守り訪問を希望される方に対して本会の見守りサポーターが月1回の見守り訪問を実施する安否確認事業では、見守りサポーターによる月1回の訪問活動が定着し、約95%の対象者の方に対して対面でお話を伺うことでの見守り訪問が実施できました。対象者の方からは「毎月の訪問が楽しみ」「サポーターが来てくれるから安心」「ちょっとしたことでも相談しやすい」といったお声を伺うとともに、相談を受けた場合は、地域総合支援センターなどの専門機関へつなぐなど、必要な支援を届けるための橋渡しを担いました。また、民生児童委員と訪問情報の共有を行うことで、地域の中での複合的な見守り体制の構築に努めました。

【安否確認訪問実績】

利用者数 (令和7年度末)	延訪問回数	新 規	廃 止
3,547名	43,093回	403名	532名

(対象) ひとり暮らし台帳に登録し、75歳以上で見守りサポーターの訪問を希望される方。

2) 地域見守りあんしん訪問

地域の中で緩やかな見守りがあることで、孤立することなく日頃の生活を続けていけるための役割を担う、地域見守りあんしん訪問では、支援の必要がある世帯に対して見守りサポーターが月1回家庭訪問を行い、世帯の状況を確認し、訪問時の状況を関係機関と共有することで、複数機関による見守り体制の充実を図りました。

【地域見守りあんしん訪問実績】

世帯数 (令和7年度末)	延訪問回数	新 規	終 了
36世帯	390回	10世帯	2世帯

(対象) 高齢者世帯、高齢者と障がい者世帯などで見守りサポーターの定期的な訪問が必要と判断された世帯。

地域・ボランティア活動事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	経常経費補助金収入	18,105,000	17,794,503	310,497
	市補助金収入	17,000,000	16,673,003	326,997
	福祉まちづくり基金運営事業補助金収入	14,000,000	13,673,003	326,997
	市ボランティア活動サポート事業補助金収入	3,000,000	3,000,000	0
	県社協補助金収入	1,105,000	1,121,500	△ 16,500
	ボランティア災害共済等運営事務費補助金収入	105,000	121,500	△ 16,500
	ボランティア活動サポート事業補助金収入	1,000,000	1,000,000	0
	受託金収入	55,668,000	44,991,824	10,676,176
	市受託金収入	55,668,000	44,991,824	10,676,176
	ふれあい会食事業受託金収入	5,400,000	4,861,373	538,627
	意思疎通支援者養成事業受託金収入	306,000	189,929	116,071
	安否確認事業受託金収入	49,962,000	39,940,522	10,021,478
	受取利息配当金収入	1,000	18,249	△ 17,249
	事業活動収入計(1)	73,774,000	62,804,576	10,969,424
	支出			
	人件費支出	46,131,000	38,245,362	7,885,638
	役員報酬支出	16,000	0	16,000
	職員給料支出	16,261,000	12,271,695	3,989,305
	職員給料支出	9,115,000	5,954,852	3,160,148
	契約職員賃金支出	7,146,000	6,316,843	829,157
	職員賞与支出	5,545,000	5,002,508	542,492
	非常勤職員給与支出	18,354,000	16,132,944	2,221,056
	法定福利費支出	5,955,000	4,838,215	1,116,785
	事業費支出	11,093,000	8,413,859	2,679,141
	水道光熱費支出	210,000	209,593	407
	消耗器具備品費支出	5,697,000	4,285,949	1,411,051
	保険料支出	87,000	33,700	53,300
	賃借料支出	1,381,000	1,065,996	315,004
	車輛費支出	832,000	745,179	86,821
	諸謝金支出	659,000	373,050	285,950
	旅費交通費支出	848,000	692,390	155,610
	印刷製本費支出	31,000	16,085	14,915
	通信運搬費支出	1,071,000	792,082	278,918
	会議費支出	52,000	30,360	21,640
	業務委託費支出	20,000	0	20,000
	手数料支出	205,000	169,475	35,525
	事務費支出	6,068,000	5,719,820	348,180
	福利厚生費支出	104,000	102,380	1,620
	職員被服費支出	50,000	16,830	33,170
	旅費交通費支出	187,000	159,960	27,040
	研修研究費支出	120,000	91,900	28,100
	事務消耗品費支出	608,000	606,611	1,389
	修繕費支出	25,000	2,097	22,903
	通信運搬費支出	705,000	685,445	19,555
	手数料支出	234,000	108,898	125,102
	保険料支出	448,000	427,380	20,620
	賃借料支出	148,000	92,445	55,555
	租税公課支出	3,359,000	3,346,674	12,326
	保守料支出	80,000	79,200	800
	助成金支出	12,779,000	12,233,286	545,714
	助成金支出	12,779,000	12,233,286	545,714
	助成金支出	12,779,000	12,233,286	545,714
	事業活動支出計(2)	76,071,000	64,612,327	11,458,673
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,297,000	△ 1,807,751	△ 489,249

施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出	固定資産取得支出	1,110,000	957,000	153,000
	器具及び備品取得支出	150,000	0	150,000
	ソフトウェア取得支出	960,000	957,000	3,000
	施設整備等支出計(5)	1,110,000	957,000	153,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,110,000	△ 957,000	△ 153,000
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	150,000	0	150,000
	固定資産購入積立資産取崩収入	150,000	0	150,000
	拠点区分間繰入金収入	3,417,000	3,351,380	65,620
	その他の活動収入計(7)	3,567,000	3,351,380	215,620
	支出			
	積立資産支出	587,000	586,629	371
支出	退職給付引当資産支出	587,000	586,629	371
	その他の活動支出計(8)	587,000	586,629	371
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,980,000	2,764,751	215,249
	予備費支出(10)	0	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 427,000	0	△ 427,000
	前期末支払資金残高(12)	495,000	494,917	83
	当期末支払資金残高(11)+(12)	68,000	494,917	△ 426,917

Ⅲ 共同募金配分金事業等拠点区分



1 赤い羽根共同募金配分金事業

1) 地域での支え合い活動の推進事業

○ つどいの場活動への支援

身近な場所で、「無理なく」「気軽に」集う自主的な居場所活動に対して、活動費の助成を行いました。活動費の助成に際しては、活動継続に向けた視点を重視し、柔軟な支援を心掛けました。

【サロン活動助成金】

助成金名	助成件数	助成金額
サロン活動助成金（福祉まちづくり基金分）	116件	3,680,000円
サロン活動助成金（赤い羽根共同募金事業分）	23件	685,000円
合 計	139件	4,365,000円

○ ふれあい訪問活動の推進

高齢の方、障がいのある方等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、定期的に地域のボランティアが訪問する活動に対して助成を行いました。訪問活動が実施されることにより、対話・交流等の機会が生まれ、閉じこもりや孤立化を防ぎ、近隣での助け合いの輪を広げることにつながっています。

（地区：8地区、延訪問回数：4,504回、助成金額：780,000円）

2) 地区社協が主催する福祉学習の推進

点字・手話・車いすなどの体験学習を、ボランティアの協力を得て実施するとともに、障がい当事者団体に協力いただき、当事者との交流を推進しました。また、地区社協が主催する福祉体験学習について費用の助成を行いました。

（地区：10地区、助成金額：199,548円）

【実施状況】

区分	主催者	実施数	内 容					
			点字	手話	車いす	ガイドヘルプ	当事者との交流	精神障がい理解
地域行事	地区社協等	11地区 他	1 地区	4 地区	6 地区	6 地区	2 地区	1 地区

※複数内容を実施した地区あり、助成金を受けていない地区あり

3) 地区社会福祉協議会の活動推進

市内23地区社協への配分を実施し、それぞれの地区が独自に取り組む様々な活動に対しての側面的な支援を実施しました。

(地区：23地区、助成金額：5,650,251円)

4) 公募配分

共同募金による支援が広く公平に行き渡るよう、市内を活動拠点とする地域福祉団体、自治会・町内会に対して公募配分の案内を行い、募金等配分検討委員会による審議で助成額を決定し、地域の福祉活動に対する支援を行いました。

また、こども版公募配分として、市内の小学校・中学校・養護学校・高等学校等に通うこどもたち自身が共同募金の使いみちを考え、学校生活を豊かにするための活動や、地域の方々で行う行事などに対し費用の一部を助成しました。学校や放課後児童クラブ等を通して公募申請を行うことで、共同募金が身近な場所で活用されていることを知ってもらうとともに、児童・生徒の福祉に対する意識を醸成する機会としました。

【公募配分】

<立上助成> (助成金額：409,753円)

団 体 名		配 分 内 容
1	HEARTS防犯ウォーキングクラブ	防犯パトロールにおける必要な備品の購入
2	明石LDを考える会	「働くということ」セミナー、個別相談実施
3	童謡・唱歌楽しもう会	童謡唱歌を唄って楽しむ会の運営
4	ふらっとカフェ	認知症カフェの運営
5	ふれあいサロン東桜会	みんなの居場所の運営
6	ゆるやか連携ラボ	医療介護福祉専門職同士のつながりを作る研修会「ゆるやか連携ラボ」の運営
7	藤江校区まちづくり協議会	小さな図書館開設
8	八木カフェミーティング	八木会館にてカフェ開設
9	西岡高齢者支援サービス協議会	ネーム入りユニフォームの購入

<継続助成>（助成金額：590,000円）

団 体 名		配 分 内 容
1	任意団体フルムーンin兵庫	ICTを活用したひきこもり、なんでも相談・応援窓口開設事業
2	MUSIC ZOO	「アート・文化芸術×福祉」ワークショップで地域に笑顔と交流を♪
3	つくるとであう	「ピザをつくるとであう」ピザづくりで人と地域とコミュニケーション
4	(仮称)中谷山住宅・中谷町ご近所 支え合いネットワーク	ご近所支え合い活動の実施
5	明石市身体障害者福祉協会	福祉事業3事業の実施

【こども版公募配分】（助成金額：266,000円）

団 体 名		配 分 内 容
1	あかしフリースペース☆トロッコ	演奏のための楽器購入
2	明石市立林小学校	ソフトバレーボール大会と卒業式記念品
3	こぐまの森 明石	パズル・本・積み木の購入
4	こぐまの森 朝霧	玩具と楽器の購入とカレー作りのための鍋購入
5	放課後等デイサービス なないろの家	ハンモック、綿菓子機、Emotionキューブの購入
6	明石養護学校	ムービングクッション、缶バッジマシーン、AppleTVの購入

5) 福祉団体等への配分

市内で活動する地域福祉に関わる団体、当事者の方々による団体等に対して活動助成を行いました。

（助成団体数：21団体、助成金額：2,295,000円）

6) 車いす貸出

介助が必要な方の外出、病気やけがなどで一時的に車いすが必要な方等の生活を支援するために、総合福祉センターや地域の貸出拠点で車いすの貸出を行いました。

年度を通じて事業の見直しを行い、介護保険制度の充実、貸出件数、拠点到設置している車いすの点検実施等の状況を考慮した結果、貸出拠点の縮小を行うとともに、身近な拠点での車いす利用を継続できるよう、新たな車いす等の設置を行う際の購入助成を実施しました。

【貸出実績】

	貸出場所数	設置台数	貸出件数
総合福祉センター	1 か所	40台	226件
各 地 域	162か所	231台	1,207件

7) 福祉機器リサイクル

世帯で使用される機会が減少した車いすなどの福祉機器のうち、再利用が可能なものを譲り受け、ボランティアの協力により点検整備した後に、必要とされる方に無償で譲り渡しました。

【福祉機器譲り受け・譲り渡し】

譲り受け数	譲り渡し数
35台	29台

【ボランティア点検整備活動】

活 動 回 数	活動延人数
21回	96名

8) 情報発信推進

【広報啓発活動実績】

○ ボランティアセンターの広報

ボランティアセンターだよりや市社協ホームページ（毎月1回以上 更新、必要に応じて随時更新）を通じて、助成金などの申請書類をダウンロードできるように整備したほか、各種助成金情報などを掲載し、ボランティア活動の側面支援ができるよう情報発信に努めました。

○ ボランティア・地域福祉活動の魅力発信

地区担当職員が地区で取り組まれる様々な活動に伺った際の様子を、インスタグラムで発信し、活動の魅力発信に努めました。

2 歳末たすけあい配分金事業

1) 施設・団体等交流支援事業

歳末に実施される地域や福祉施設等での交流事業や、地域での見守りが必要な世帯への訪問事業などに対して支援を行いました。

（助成団体：97団体、助成金額：1,976,581円）

共同募金配分金事業等拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入	経常経費補助金収入	14,640,000	12,728,451	1,911,549
		共同募金配分金収入	14,640,000	12,728,451	1,911,549
		一般募金配分金収入	11,840,000	10,706,000	1,134,000
		歳末たすけあい配分金収入	2,800,000	2,022,451	777,549
		事業活動収入計 (1)	14,640,000	12,728,451	1,911,549
	支出	事業費支出	829,000	143,899	685,101
		車輜費支出	72,000	61,069	10,931
		諸謝金支出	577,000	33,000	544,000
		印刷製本費支出	80,000	38,940	41,060
		通信運搬費支出	52,000	0	52,000
		手数料支出	48,000	10,890	37,110
		事務費支出	6,035,000	2,847,891	3,187,109
		旅費交通費支出	70,000	43,740	26,260
		事務消耗品費支出	560,000	258,191	301,809
		修繕費支出	20,000	0	20,000
		通信運搬費支出	383,000	167,781	215,219
		会議費支出	20,000	9,434	10,566
		広報費支出	1,959,000	1,433,850	525,150
		業務委託費支出	2,862,000	828,490	2,033,510
		手数料支出	160,000	106,205	53,795
		租税公課支出	1,000	200	800
		助成金支出	16,404,000	12,842,133	3,561,867
		助成金支出	16,404,000	12,842,133	3,561,867
		助成金支出	16,404,000	12,842,133	3,561,867
		事業活動支出計 (2)	23,268,000	15,833,923	7,434,077
		事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 8,628,000	△ 3,105,472
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出				
		施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		0	0	0	
その他の活動による収支	収入				
		その他の活動収入計 (7)	0	0	0
	支出				
		その他の活動支出計 (8)	0	0	0
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		0	0	0
予備費支出 (10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 8,628,000	△ 3,105,472	△ 5,522,528	
前期末支払資金残高 (12)			16,916,000	15,943,040	972,960
当期末支払資金残高 (11) + (12)			8,288,000	12,837,568	△ 4,549,568

IV 基幹相談支援センター拠点区分

1 基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター運営事業

障がい福祉分野における相談支援の中核的な役割を担う機関として、総合相談・専門相談、権利擁護・虐待防止、地域の相談支援体制の強化に取り組みました。

1) 総合相談・専門相談

障害福祉サービスだけでは解決が困難な複合多問題や虐待をはじめとする権利侵害などを含めて多岐に渡る相談が寄せられています。

【相談支援を利用した障がい者等の人数（実人数）】

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病等	その他	合計
53人	164人	251人	45人	5人	4人	1人	523人

【相談支援件数（延件数）】

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病等	その他	合計
1,071件	2,917件	4,114件	905件	92件	139件	1件	9,239件

2) 権利擁護・虐待防止

【障がい者虐待に関する相談・通報等の件数】

			通報義務に該当しない相談等				合計
養護者	施設従事者等	使用者	保育所等	学校	医療機関等	官公署	
22件	17件	2件	0件	1件	0件	0件	42件

【障がい者虐待（疑い）の種別・類型（重複あり）】

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄・放置	経済的虐待	合計
養護者	12件	0件	10件	3件	4件	29件
施設従事者等	3件	1件	14件	0件	0件	18件
使用者	0件	0件	1件	0件	1件	2件

【被虐待者（疑い）の障がい種別（重複あり）】

	身体	知的	精神	発達	難病等	その他	合計
養護者	8件	10件	8件	3件	1件	0件	30件
施設従事者等	2件	6件	6件	4件	0件	1件	19件
使用者	0件	2件	0件	1件	0件	0件	3件

【明石市権利擁護・障害者虐待防止研修】

障害者福祉施設従事者等による虐待防止対策の一助として、オンデマンドと対面を組み合わせた研修を実施しました。

市内障害福祉サービス事業所から116名が参加して、事後課題を提出した101事業所に受講証明書を発行しました。

[オンデマンド講義] 関西福祉大学社会福祉学部教授 谷口 泰司 「虐待防止の視点」（配信期間：10月20日～12月12日）	
対面研修 (12月16日)	[行政報告] 障害福祉課障害者支援担当係長 上阪 裕子 「明石市における障害者虐待の現状 ～被虐待者とその家族の思い～」
	[講義] 兵庫県立大学社会科学研究科教授 木下 隆志 「虐待通報の分析から学ぶ ～事業所のリスク兆候の抽出と予防策」
	[講義] 東播磨圏域障害者等相談支援コーディネーター 濱口 直哉 「私たちが目指すものとは？」
	[講義+演習] こころ相談研修センター代表理事 杉下 味香 「自己決定につながる声のかけ方とは？」
	[演習①] LITALICOワークス明石管理者 池田 紫帆 「一般就労（事務職）を目指す利用者へのかかわり」
	[演習②] 障害者支援施設博由園次長 渡辺 真由美 「交通事故による受傷で施設入所した利用者へのかかわり」
	[総括] こぐまくらぶ理事長 松本 将八 「ともに歩み、ともに育つ ～今日の学びを明日の支援に～」

3) 地域の相談支援体制の強化の取組

相談支援専門員に対する専門的な助言や指導（相談支援専門員が直面している困難な事柄を自ら解決できるような支援）、人材育成の支援（障がい特性の理解や相談援助技術の習得を目的とした事例検討会等の開催）に取り組みました。

5月15日	性的問題行動を伴う知的障害・発達障害者の支援	24名
7月17日	社会的孤立の危うさがある発達障害者の支援	25名
9月18日	統合失調症とS字結腸癌患者の支援	21名
11月20日	自傷行為を繰り返している人の支援	30名
1月15日	親子共に自閉スペクトラム障害がある世帯の支援	23名
3月19日	わいせつ行為が継続している人の支援	22名

2 地域自立支援協議会運営事業

3つの専門部会（くらし・しごと・こども）と2つの連絡会（相談支援連絡会・サービス管理責任者等連絡会）を設置して、関係機関の連携の緊密化を図るほか、障害福祉サービスの提供等の実務を通じて把握した、①支援体制に関する課題、②既存の制度やサービスだけでは解決が困難な事例、③繰り返し起こっている類似の問題等を整理・集約しました。

令和7年度は、『家で好きなことだけしたい』と学校を避ける本人と、『将来は自立してほしい』と願う母親の間で相談支援専門員が葛藤しているケースの報告がありました。誰もが将来（進路）を考えるにあたり、さまざまな経験を土台にして意思を形成していくことが重要ですが、学校だけで十分な経験を積めるとは言い切れないという問題に対して、障がいのある子どもたちが、「やってみたい」と思える経験や楽しさを広げていくために、『知らない』を『知っている』に変えていく取組について協議・検討しました。

6月13日	令和7年度（2025年度）専門部会等活動計画（案）
9月19日	・ ケース報告（相談支援連絡会） ・ 問題の整理・集約
12月12日	課題解決に向けた協議・検討
3月13日	構成団体各所の取り組み（案）の報告

協議・検討を経て、「将来」という抽象的な概念ではなく、具体的なイメージを持てる視覚的・体験的な情報発信が求められているとの意見で一致しました。これを具体化するため、放課後等デイサービスの利用児と保護者が夏休みを利用して、就労継続支援B型事業所を見学・体験できる仕組みづくりに取り組むことになりました。

基幹相談支援センター拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	受託金収入	70,442,000	69,723,035	718,965
	市受託金収入	70,442,000	69,723,035	718,965
	基幹相談支援センター等受託金収入	70,442,000	69,723,035	718,965
	事業活動収入計(1)	70,442,000	69,723,035	718,965
	支出			
	人件費支出	56,134,000	56,058,946	75,054
	職員給料支出	34,385,000	34,327,769	57,231
	職員給料支出	32,097,000	32,040,713	56,287
	契約職員賃金支出	2,288,000	2,287,056	944
	職員賞与支出	13,941,000	13,939,904	1,096
	法定福利費支出	7,808,000	7,791,273	16,727
	事業費支出	5,475,000	4,911,558	563,442
	消耗器具備品費支出	366,000	358,040	7,960
	保険料支出	195,000	194,152	848
	賃借料支出	1,962,000	1,946,638	15,362
	車輛費支出	470,000	420,097	49,903
	諸謝金支出	510,000	230,000	280,000
	旅費交通費支出	180,000	146,290	33,710
	修繕費支出	4,000	3,850	150
	通信運搬費支出	859,000	698,086	160,914
	会議費支出	40,000	29,345	10,655
	広報費支出	150,000	146,960	3,040
	業務委託費支出	622,000	621,500	500
	手数料支出	117,000	116,600	400
	事務費支出	4,917,000	4,548,140	368,860
	福利厚生費支出	81,000	80,780	220
	旅費交通費支出	18,000	12,220	5,780
	研修研究費支出	63,000	58,000	5,000
	通信運搬費支出	30,000	0	30,000
	手数料支出	72,000	63,994	8,006
	賃借料支出	80,000	66,131	13,869
	租税公課支出	4,520,000	4,214,915	305,085
	保守料支出	40,000	39,600	400
	諸会費支出	13,000	12,500	500
	事業活動支出計(2)	66,526,000	65,518,644	1,007,356
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,916,000	4,204,391	△ 288,391
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
	施設整備等支出計(5)	0	0	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出			
	積立資産支出	4,205,000	4,204,391	609
	退職給付引当資産支出	4,205,000	4,204,391	609
	その他の活動支出計(8)	4,205,000	4,204,391	609
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 4,205,000	△ 4,204,391	△ 609
予備費支出(10)		0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 289,000	0	△ 289,000
前期末支払資金残高(12)		0	0	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		△ 289,000	0	△ 289,000

V 後見支援センター拠点区分

1 後見支援センター運営事業

認知症や知的、精神の障がい等により判断能力が十分でない人や、支援や援護を必要とする人が住み慣れた地域で安全に安心して生活が続けられるよう、本人主体の観点から後見制度の利用支援や権利擁護支援を行い、総合的かつ積極的な権利擁護の推進を図りました。

事業としては、中核機関としての体制整備と機能強化を重点として後見・権利擁護の専門相談・専門支援、後見制度の広報・啓発、法人後見の受任、市民後見人等の養成や活動支援、後見基金の運用と後見基金事業の実施、関係機関との連携強化による支援体制やネットワークづくり、センターの運営・事業調整・受任調整委員会の運営、専門職バンクの登録及び後見人の申立・候補者の調整支援等を行いました。

① 相談支援実績

	合 計	(相談者の内訳)		
		高齢者	障害者	その他
相談者数（実人数）	630人	368人	225人	37人
相談支援件数（延件数）	12,295件			

② 法律専門相談における実績（法律職による来所相談）

	合 計
開催回数	47回
相談件数	66件

③ 終活専門相談における実績（法律職による来所相談）

	合 計
開催回数	47回
相談件数	39件

④ 後見制度・終活等の広報・啓発実績（地域の講座等への講師派遣・視察受入）

	合 計
研修会等への講師派遣	11回
視察等の受入	1 回

⑤ 専門職バンクの登録状況（令和8年3月31日現在）

弁護士	18人
司法書士	45人
社会福祉士	69人
合 計	132人

⑥ 専門職バンクへの相談依頼件数

（職種／内容）	後見申立	後見受任	その他	合 計
弁護士	5 件	6 件	0 件	11件
司法書士	58件	29件	0 件	87件
社会福祉士	—	31件	0 件	31件
合 計	63件	66件	0 件	129件

⑦ 法人後見・監督の受任

市民後見人養成講座修了者の現場体験の受け皿等を目的として、法人後見の受任に取り組みました。これまで延べ法人後見6人及び監督9人に就任し、後見業務及び監督業務を行いました。

【令和7年度末の受任状況（実数）】

		（内訳）			
		後見	保佐	補助	任意
法 人 後 見	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人
法 人 後 見 監 督 （市民後見人）	5 人	2 人	3 人	0 人	0 人

⑧ 市民後見人等の養成や活動の支援

将来、「市民後見人」をはじめ、地域福祉や権利擁護に携わる幅広い支援の担い手として活動する人材の発掘・養成支援を目的とする「市民後見人（市民サポーター）養成講座」を定期的を開催し、市民サポーター（養成講座修了者等）の活動支援、市民後見人の監督等の養成に取り組んできました。これまでに計5回、「市民後見人（市民サポーター）養成研修」を開催し、延べ、①修了者70名、②市民サポーターバンク登録者42名、市民後見人候補者17名、④市民後見人9名を輩出しました。市民後見人のフォローアップとして、勉強会や事例検討をはじめ、市民後見人（市民後見人候補者）間での意思決定支援をテーマとする情報交換や後見業務等に関する支援のスキルアップを図りました。

2 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

判断能力に不安のある高齢者や知的・精神障がい者が地域で安心して生活できるように福祉サービス利用の援助や日常の金銭管理援助を行いました。

また、成年後見制度への移行が必要な人に対して、制度の申立や後見人候補者等の受任調整支援を行いました。

① 契約状況等

契約者数 (令和7年度末)	新規契約者数	解約者数
99人	10人	13人

- ・契約者のうち、生活保護受給者69人（約70％）
- ・解約者のうち、成年後見制度への移行者3人（約23％）

② 生活支援員の支援実績

訪問延回数	訪問延時間
2,938回	2,382時間40分

3 後見基金事業（自主事業）

本会に創設した後見基金を活用し、後見制度の普及啓発、市民後見人の養成支援、後見制度の狭間にあるニーズへの支援等など、後見制度の利用促進に取り組みました。本年度は後見基金に4件の寄付がありました。

【実績】

① 基金への収入【寄付遺贈】	（ 4 件）	381,000円
② 基金からの支出【支給等】	（ 20件）	1,294,020円
③ 基金の累積積立額（令和7年度末時点）		59,874,226円

4 明石市更生支援コーディネート事業

罪に問われた者等が地域社会で孤立することなく平穏な生活を送れるよう、社会復帰に向けた相談支援や更生支援に資するネットワーク作りに取り組みました。

【相談支援実績】

		相談者数 (実人数)	(相談者の内訳)			相談支援件数 (延件数)
			高齢者	障害者	その他	
支援内容	入口支援 ¹⁾	22人	7人	14人	1人	84件
	出口支援 ²⁾	9人	1人	8人	0人	100件
	その他	3人	0人	3人	0人	9件
合 計		34人	8人	25人	1人	193件

¹⁾入口支援・・・捜査・公判段階の人に対する支援

²⁾出口支援・・・刑務所等から出所する人に対する支援

【実務者連絡会等の開催】

更生支援の支援機関（実務者）との連携強化を目的とした連絡会等を開催し、情報共有や意見交換等を行いました。本年度は、明石市保護司会の研修会に参加し、更生支援コーディネート事業や支援事例を紹介しました。

① 神戸地方検察庁明石支部との実務者連絡会【2回】

② 神戸保護観察所との実務者連絡会【2回】

③ 矯正処遇過程における参観及び意見交換会（神戸刑務所）【1回】

その他、本年度は更生支援の理解と連携を深めるため、障害支援関係者を対象とした実践報告会「更生を温かく支える実践者の集い」を開催した。

後見支援センター拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	寄附金収入	1,000,000	381,000	619,000
	経常経費寄附金収入	1,000,000	381,000	619,000
	受託金収入	84,464,000	79,101,900	5,362,100
	市受託金収入	73,985,000	68,850,900	5,134,100
	後見支援センター運営事業業務受託金収入	53,000,000	48,436,105	4,563,895
	終活支援業務受託金収入	6,985,000	6,985,000	0
	更生支援コーディネート事業受託金収入	14,000,000	13,429,795	570,205
	県社協受託金収入	10,479,000	10,251,000	228,000
	日常生活自立支援事業受託金収入	10,479,000	10,251,000	228,000
	事業収入	1,400,000	799,000	601,000
	利用料収入	720,000	524,000	196,000
	日常生活自立支援事業利用料収入	720,000	524,000	196,000
	法人後見受任報酬収入	480,000	275,000	205,000
	法人後見受任報酬収入	480,000	275,000	205,000
	後見申立費用等貸付金償還収入	200,000	0	200,000
	事業活動収入計(1)	86,864,000	80,281,900	6,582,100
	支出			
	人件費支出	71,566,261	67,158,728	4,407,533
	職員給料支出	44,309,003	40,733,371	3,575,632
	職員給料支出	30,214,003	27,903,499	2,310,504
	嘱託職員給料支出	3,196,000	3,148,580	47,420
	契約職員賃金支出	10,899,000	9,681,292	1,217,708
	職員賞与支出	14,537,840	14,506,800	31,040
	非常勤職員給与支出	3,300,000	3,230,851	69,149
	法定福利費支出	9,419,418	8,687,706	731,712
	事業費支出	14,535,128	10,590,876	3,944,252
	消耗器具備品費支出	852,000	643,993	208,007
	保険料支出	791,000	376,120	414,880
	賃借料支出	3,092,508	3,076,936	15,572
	車輛費支出	760,000	665,081	94,919
	諸謝金支出	2,439,000	975,085	1,463,915
	旅費交通費支出	320,010	244,790	75,220
	印刷製本費支出	727,410	495,132	232,278
	修繕費支出	70,000	61,853	8,147
	通信運搬費支出	932,000	828,951	103,049
	会議費支出	7,000	6,445	555
	広報費支出	24,200	24,200	0
	業務委託費支出	2,082,000	2,081,200	800
	保守料支出	396,000	396,000	0
	手数料支出	1,792,000	609,300	1,182,700
	後見申立費用等貸付金支出	200,000	100,000	100,000
	雑支出	50,000	5,790	44,210
	事務費支出	5,970,467	5,125,799	844,668
	福利厚生費支出	235,240	137,340	97,900
	職員被服費支出	58,000	57,640	360
	旅費交通費支出	12,000	0	12,000
	研修研究費支出	45,000	11,000	34,000
	事務消耗品費支出	165,000	29,962	135,038
	水道光熱費支出	72,000	68,535	3,465
	通信運搬費支出	30,000	29,040	960
	手数料支出	195,515	155,679	39,836
	賃借料支出	244,000	160,117	83,883
	租税公課支出	4,863,712	4,426,986	436,726
	保守料支出	40,000	39,600	400
	諸会費支出	10,000	9,900	100
	事業活動支出計(2)	92,071,856	82,875,403	9,196,453
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 5,207,856	△ 2,593,503	△ 2,614,353

施設整備等による収支	収入			
		施設整備等収入計(4)	0	0
	支出	固定資産取得支出	164,000	163,680
		器具及び備品取得支出	164,000	163,680
		施設整備等支出計(5)	164,000	163,680
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 164,000	△ 163,680
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	4,555,000	1,294,020
		後見基金積立資産取崩収入	4,555,000	1,294,020
		拠点区分間繰入金収入	4,000,000	4,000,000
		その他の活動収入計(7)	8,555,000	5,294,020
	支出	積立資産支出	3,183,144	2,536,837
		退職給付引当資産支出	2,183,144	2,155,837
		後見基金積立資産支出	1,000,000	381,000
		その他の活動支出計(8)	3,183,144	2,536,837
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,371,856	2,757,183
		予備費支出(10)	0	0
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0
		前期末支払資金残高(12)	0	0
		当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0

VI 地域活動支援センター事業拠点区分

障がい者が住み慣れた地域において、孤立することなく他者との交流を深め、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作活動や日常生活訓練の機会を提供する各種事業を開催しました。

1) 創作・技能・適応訓練教室

点字、料理、編物、生花、陶芸、写真、書道、手話、囲碁・将棋、体操、童謡・唱歌、パソコン、絵手紙、スポーツ、短歌、刺しゅう、英会話、ウクレレの18教室を開催しました。

実 施 回 数	249回
実 参 加 者 数	119名
延 参 加 者 数	2,192名

2) プール教室（機能訓練）

肢体不自由者を対象に、水中での機能訓練とレクリエーションを目的に「プール教室」を開催しました。

実 施 回 数	19回
実 参 加 者 数	3名
延 参 加 者 数	36名

3) スポーツ・レクリエーションイベント

① 団体対抗！！ラダーゲッター記録大会

明石市の障がい者団体・施設等を対象に各々の事業所等で記録会を行い、合計点数を競い合う記録大会を実施しました。

参加団体の上位4チームで行う準決勝・決勝戦は総合福祉センターで開催し、大会の様子をネット配信でも観戦できるようにしました。

※ 「ラダーゲッター」はハシゴ状の枠（ラダー）にボールを投げて得点を競い合うニュースポーツです。）

開 催 期 間	予 選 10月1日から11月7日まで 準決勝・決勝戦 11月27日
参 加 団 体 数	20団体
参 加 者 数	選手（障がい者等）421名 スタッフ 91名

② ユニバーサルスポーツ体験会

ユニバーサルスポーツへの関心を高めるとともに参加者同士の交流を図るため、体験会を実施しました。

開催日	9月20日
参加者数	103名 スタッフ 34名（川崎重工業ボランティア 川友会、あかしパラスポネット、明石高校ボランティア部 等）

4) 障がい者スポーツ交流事業

① にこにこスイミング教室

障がい者及び高齢者の心身機能の維持や増進を図ることを目的に、毎月第3・4木曜日に開催しました。

実施回数	44回
参加者数	300名

② こども水泳教室

障がいのある子どもたちの健康の維持向上を図ることを目的に、こども水泳教室を開催しました。

開催日	4月19日、5月17日、5月31日 6月7日、7月7日、8月2日
参加者数	92名

地域活動支援センター事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 7 年 4 月 1 日 (至) 令和 8 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	障害福祉サービス等事業収入	25,096,000	23,572,274	1,523,726
	その他の事業収入	25,096,000	23,572,274	1,523,726
	受託事業収入	25,096,000	23,572,274	1,523,726
	事業活動収入計 (1)	25,096,000	23,572,274	1,523,726
	支出			
	人件費支出	11,178,000	10,908,547	269,453
	職員給料支出	5,949,000	5,793,878	155,122
	契約職員賃金支出	5,949,000	5,793,878	155,122
	職員賞与支出	2,642,000	2,641,798	202
	非常勤職員給与支出	1,012,000	903,040	108,960
	法定福利費支出	1,575,000	1,569,831	5,169
	事業費支出	13,396,000	12,184,538	1,211,462
	消耗器具備品費支出	1,422,000	1,348,018	73,982
	保険料支出	67,000	47,390	19,610
	諸謝金支出	10,007,000	9,614,816	392,184
	旅費交通費支出	239,000	80,438	158,562
	通信運搬費支出	99,000	41,488	57,512
	会議費支出	6,000	4,908	1,092
	業務委託費支出	1,555,000	1,047,480	507,520
	租税公課支出	1,000	0	1,000
	事務費支出	522,000	479,189	42,811
	福利厚生費支出	28,000	27,720	280
	手数料支出	434,000	392,750	41,250
	賃借料支出	60,000	58,719	1,281
	事業活動支出計 (2)	25,096,000	23,572,274	1,523,726
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0	0	0
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出			
	施設整備等支出計 (5)	0	0	0
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	0	0	0
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計 (7)	0	0	0
	支出			
	その他の活動支出計 (8)	0	0	0
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	0	0	0
予備費支出 (10)		0	0	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		0	0	0
前期末支払資金残高 (12)		0	0	0
当期末支払資金残高 (11) + (12)		0	0	0

■ 公益事業区分

I 総合福祉センター管理運営事業拠点区分

市民の福祉向上と地域福祉活動の推進に寄与するため、自主運営事業を実施するとともに、貸館業務については、施設設備の維持管理に努め、利用者の利便性向上を図りました。

1) 明石市立総合福祉センターの新たな活用に向けた取組

令和7年度から明石養護学校への温水プールの貸出しを開始し、利用者の拡大に努めました。また、引き続き総合福祉センター内で行っている事業を知的障がい者、精神障がい者等に参加いただけるようPRし、イベントや各種教室等への参加を増やす取組を進めました。

2) 貸館業務（施設の利用状況）

プール、会議室・多目的体育室及び料理室等の貸館業務を行いました。

利 用 回 数	4,870回
利 用 者 数	55,999名

3) 各種教室、交流イベントの開催

障がい者（児）とその家族及び高齢者を対象に、利用者同士の交流を目的に「ネパール料理を作ろう」及び「にこにこちぎり絵教室」を開催しました。

開 催 日	6月30日、11月21日
参 加 者 数	29名

4) 各種教室の実施、健康相談業務

① 水中ウォーキング教室

心身機能の維持や転倒予防を目的に、プールでの適切な運動方法の相談・指導を毎月第2木曜日に開催しました。

実 施 回 数	12回
参 加 者 数	161名

② 水中リズム運動

心身機能の維持や回復を目的に、水中での簡単なリズム運動の指導を奇数月の第1木曜日に開催しました。

実 施 回 数	5 回
参 加 者 数	73名

③ 入水相談

プールを効果的かつ安全に利用いただくことを目的に、看護師等が身体状況等を聞き取り、入水相談を実施しました。

相 談 者 数	79名
---------	-----

④ 太極拳教室

健康維持、増進を目的に太極拳教室を実施しました。

実 施 回 数	9 回
参 加 者 数	191名

⑤ 健康相談

利用者を対象に、健康不安の解消を目的に受付窓口や温水プールにおいて看護師が健康相談を行いました。

相 談 者 数	497名
---------	------

⑥ 健康教室

障がい者及び高齢者を対象に、健康に対する意識を高めることを目的に健康教室（健康体操、健康相談）として「にこにこ粋・生き健康教室」を開催しました。

実 施 回 数	2 回
参 加 者 数	45名

⑦ 障がい者事業所支援事業

障がい者の自立支援を目的に、ロビー等にて障がい者作業所等で製作するパンやクッキー、小物・雑貨等の販売コーナーを設置しました。

販 売 回 数	189回
---------	------

5) 施設の維持管理業務

館内の男女トイレ全てを洋式（暖房便座付き）に取り替える工事を実施しました。

また、建築基準法第12条における外壁調査（10年に1度）を実施し、外壁タイルの浮き等の危険個所の把握に努めました。なお、危険個所については令和8年度に改修を実施します。

このほか、日常の設備点検、清掃など適切な維持管理を行いました。

総合福祉センター管理運営事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	受託金収入	98,506,000	90,946,148	7,559,852
	市受託金収入	98,506,000	90,946,148	7,559,852
	総合福祉センター指定管理業務受託金収入	98,506,000	90,946,148	7,559,852
	事業収入	0	8,000	△ 8,000
	利用料収入	0	8,000	△ 8,000
	その他の利用料収入	0	8,000	△ 8,000
	その他の収入	132,000	186,480	△ 54,480
	雑収入	132,000	186,480	△ 54,480
	雑収入	132,000	186,480	△ 54,480
	事業活動収入計(1)	98,638,000	91,140,628	7,497,372
	支出			
	人件費支出	38,172,000	33,857,701	4,314,299
	職員給料支出	19,334,000	16,705,113	2,628,887
	職員給料支出	6,872,000	4,331,710	2,540,290
	嘱託職員給料支出	2,520,000	2,453,669	66,331
	契約職員賃金支出	9,942,000	9,919,734	22,266
	職員賞与支出	6,864,000	6,156,150	707,850
	非常勤職員給与支出	7,701,000	7,444,811	256,189
	法定福利費支出	4,273,000	3,551,627	721,373
	事業費支出	59,286,000	56,282,809	3,003,191
	水道光熱費支出	15,610,000	14,865,153	744,847
	消耗器具備品費支出	990,000	983,183	6,817
	保険料支出	120,000	113,960	6,040
	賃借料支出	1,042,000	1,041,080	920
	諸謝金支出	202,000	201,900	100
	印刷製本費支出	96,000	75,900	20,100
	修繕費支出	3,887,000	3,439,840	447,160
	通信運搬費支出	364,000	359,422	4,578
	会議費支出	6,000	3,888	2,112
	広報費支出	193,000	192,500	500
	業務委託費支出	30,922,000	30,878,600	43,400
	保守料支出	246,000	209,330	36,670
	租税公課支出	5,608,000	3,918,053	1,689,947
	事務費支出	985,000	805,638	179,362
	福利厚生費支出	67,000	46,200	20,800
	旅費交通費支出	12,000	4,900	7,100
	研修研究費支出	39,000	7,000	32,000
	通信運搬費支出	11,000	10,364	636
	手数料支出	126,000	119,515	6,485
	賃借料支出	690,000	578,059	111,941
	保守料支出	40,000	39,600	400
	事業活動支出計(2)	98,443,000	90,946,148	7,496,852
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	195,000	194,480	520
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
	施設整備等支出計(5)	0	0	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出			
	事業区分間繰入金支出	195,000	194,480	520
	その他の活動支出計(8)	195,000	194,480	520
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 195,000	△ 194,480	△ 520
予備費支出(10)		0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0
前期末支払資金残高(12)		0	15,000,000	△ 15,000,000
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	15,000,000	△ 15,000,000

Ⅱ 総合福祉センター新館管理運営事業拠点区分

共生の社会づくりの推進に寄与するため、誰もが参加しやすいようバリアフリーに配慮した事業を実施するとともに、貸館業務については、適切な施設設備の維持管理を行いました。

1) ユニバーサルスポーツの普及啓発

スポーツ等を通じた共生社会の理解促進を目的に1階多目的ホール、ギャラリーを活用し、広く一般利用していただく他、誰もが参加できるスポーツの体験、教室を実施しました。

① スポーツ体験

随時開催（開館時）

（車いす卓球、車いすバスケットボール、卓球、卓球バレー、ボッチャ、フライングディスク、風船バレー、サウンドテーブルテニス、ブラインドサッカー、ストラックアウト、ラダーゲッター、モルック、フロアーカール、囲碁ボール、ガラッキー、バグジー）

利用 者 数	5,692名
--------	--------

② スポーツ教室

毎月第1～第4木曜日開催

教 室 名	参加者数
ボッチャ教室	232名
卓球バレー教室	239名
スポーツインストラクターの 気まぐれ教室	352名

毎月第1、第3金曜日開催

教 室 名	参加者数
健康体操とACEボール教室	359名

毎月第3土曜日開催

教 室 名	参加者数
ストレッチ教室+α	150名

③ いきいき貯筋教室

毎月第1土曜日開催

利 用 者 数	150名
---------	------

④ 子どものゆっくり運動教室

毎月第1土曜日開催

利 用 者 数	28名
---------	-----

⑤ ギャラリーの開設

2階廊下及び交流スペースを活用し、障がい者等の作品を展示するギャラリーを運営しました。

展 示 回 数 (概ね1か月ごと)	9回
----------------------	----

2) 障がい者就労支援カフェの運営

障がい者の社会参画による共生社会の理解促進を目的に2階交流スペースにて「軽食・喫茶なかま」を運営しました。

営 業 日 数	242日
利 用 者 数	8,588名

3) みんな食堂

こども、障がい者、高齢者等を含めた全ての住民を対象に「食」を通じて気づきと支え合いを育む「みんな食堂」を月2回実施し、近隣の小学校、まちづくり協議会を通しての定期的な広報活動を行いました。

実 施 回 数	24回
参 加 者 数	380名

総合福祉センター新館管理運営事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	受託金収入	26,504,000	26,504,000	0
	市受託金収入	26,504,000	26,504,000	0
	その他の受託金収入	26,504,000	26,504,000	0
	事業活動収入計(1)	26,504,000	26,504,000	0
	支出			
	人件費支出	3,915,201	3,915,201	0
	職員給料支出	2,500,139	2,500,139	0
	契約職員賃金支出	2,500,139	2,500,139	0
	職員賞与支出	876,851	876,851	0
	法定福利費支出	538,211	538,211	0
	事業費支出	22,366,969	22,366,969	0
	水道光熱費支出	1,820,070	1,820,070	0
	消耗器具備品費支出	714,873	714,873	0
	保険料支出	19,250	19,250	0
	印刷製本費支出	60,473	60,473	0
	修繕費支出	210,672	210,672	0
	通信運搬費支出	307,653	307,653	0
	広報費支出	201,300	201,300	0
	業務委託費支出	17,537,596	17,537,596	0
	租税公課支出	1,495,082	1,495,082	0
	事務費支出	221,830	221,830	0
	福利厚生費支出	9,240	9,240	0
	手数料支出	25,905	25,905	0
	賃借料支出	147,085	147,085	0
	保守料支出	39,600	39,600	0
	事業活動支出計(2)	26,504,000	26,504,000	0
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
	施設整備等支出計(5)	0	0	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出			
	その他の活動支出計(8)	0	0	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0
予備費支出(10)		0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0
前期末支払資金残高(12)		0	2,000,000	△ 2,000,000
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	2,000,000	△ 2,000,000

Ⅲ 地域総合支援センター事業拠点区分

地域共生社会の実現に向け、市内6か所の地域総合支援センターに、保健師または看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士を配置し、高齢者だけでなく、障がい者、子どもを含む様々な支援を必要とする人とその家族に対して、総合的・包括的な相談対応を行いました。また、令和5年度から明石市で本格実施された重層的支援体制整備事業もあわせて取り組みました。

1 総合相談支援事業

地域住民が住み慣れた地域で生活し続けることができるように様々な相談に対応しました。

支援経過記録について専門職対象に研修会を今年度2回開催し、記録の在り方や目的、法的根拠について学びました。アンケート結果から、初めて支援経過記録の研修に参加する職員が多く、記録を要約し、個人情報意識して支援経過記録を書くという行動変容に繋がりました。

相談者数（実人数）	延相談件数
7,253件	42,311件

2 権利擁護事業

判断能力の低下した高齢者や複合的な問題のある高齢者の相談に対応しました。

市域で高齢者虐待通報件数の多い通所系サービス向けに養護者による虐待の防止に関する啓発を行い、37名が参加しました。

また昨年度、上記の啓発を実施した明石市域訪問看護ステーション連絡協議会へ啓発の効果についてモニタリングを実施した結果、虐待の疑いのあるケースについて通報をおこなった事業所が昨年度比12%増となり、啓発の成果が得られました。

【対応件数（延件数）】

成年後見制度活用	高齢者虐待対応	金銭問題・消費者被害等
3,009件	4,552件	4,410件

（延件数）

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の介護支援専門員が包括的・継続的ケアマネジメントを実施できるよう、介護支援専門員からの相談対応や、介護支援専門員間のネットワークづくり、介護支援専門員と関係機関との連携を支援しました。専門職としての役割と価値倫理を再認識するために意見交換会を実施し、専門性の向上に向けて取り組みました。

取組の種類	手 段	回 数
情報交換会（交流会）	オンライン型	0回
	参集型	35回
事例検討会	オンライン型	5回
	参集型	9回
事例検討会の振り返りの会	オンライン型	5回
	参集型	5回
学習会	オンライン型	0回
	参集型	10回

4 地域連携推進事業

1) 在宅医療・介護連携専門部会の開催

専門部会を開催し、身寄りがない方や認知症に関する問題や課題について意見交換を行い、各団体での取組について共有をしました。

区 分	概 要	開 催 回 数
専門部会	合意形成・意思決定	2回
ワーキング	課題解決に向け計画に沿った取組の実践	2回
運営会議	ワーキング等取組の運営や方向性等の検討	2回

まちなかゾーン会議	課題への対応や取組等を中学校区圏域の地域住民と専門職等が検討することで、地域課題の解決につなげていく	56回
地域ケア個別会議	高齢者の課題への対応を、本人や家族、専門職などの多様な視点から検討し、その人らしい地域生活の継続を支援する	214回

5 生活支援体制整備事業

地域の現状を把握し、住民とともに新たな地域での取組を行うために必要な協議等を行い、地域住民と地域にある企業や団体、社会福祉法人等が特性を活かした協働を行えるよう、必要な働きかけや支援を地域・市域で実施しました。

1) 第1層生活支援コーディネーターの取組（市域エリア）

地域福祉活動における圏域をまたぐ広域的な協議を実施し、地域住民による地域福祉活動と企業や団体、社会福祉法人等が協働するきっかけとなる場を整備しました。

また、第2層生活支援コーディネーターに対して、業務の推進における相談対応、助言を行いました。また、地域福祉の推進を行える人材としての資質向上に努めました。

2) 第2層生活支援コーディネーターの取組（地域エリア）

日常生活圏域における集いや福祉活動の担い手と信頼関係を構築し、地域にある企業や団体、福祉事業所等が行う取組などの情報提供を行い、活動のきっかけづくりを地域で展開しました。また、生活課題や生きづらさがある人の生活支援についてフォーマル、インフォーマルを問わないサポート体制を住民と共に協議し、必要な調整を行いました。

3) 就労的活動支援の取組

高齢者の生きがいづくり・就労的活動、有償・無償の福祉的活動に参画する人材育成のため、市内の社会福祉法人と協力し、生活援助訪問型サービス従事者養成研修を10～11月に4回実施し5名が受講されました。

4) 社会福祉法人と協働したボランティア養成講座の開催

市内の社会福祉法人と協働して、福祉施設を利用する方の生きがいに資する支援等を行うため、施設入居者、利用者が地域との関わりをもつ時に寄り

添えるボランティアの募集を行い、講座や実践活動を経て10名のボランティアが各施設にて活動を行いました。

11月21日	明石恵泉福祉会	5名
2月20日	障害者支援施設博由園	5名

6 認知症総合支援事業

早期の相談や予防の重要性について周知するとともに、認知症総合相談窓口や各地域総合支援センターにおいて本人や家族等からの相談対応、社会資源や支援機関の情報提供等を窓口又は訪問による面談及び電話対応で行いました。

また、令和7年春に受賞者を発表した認知症川柳の取組は、神戸新聞にも掲載されました。あかしオレンジフェスでの受賞作品の展覧会、地域の敬老会やサロンでの展示、小学校での掲示等を通じて多くの住民に受賞作品を知ってもらうことで認知症の正しい理解の啓発を行いました。

さらに、オレンジサポーター養成講座の実施やオレンジサポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトの交流会を各地域総合支援センターで開催しました。

【相談件数】

初回相談	継続相談	総件数	初期集中支援導入
648件	10,118件	10,766件	2件

【相談方法の内訳】

電話相談	来所相談	訪問相談	その他
7,937件	832件	1,195件	802件

【オレンジサポーター養成講座実施件数】

開催数	養成人数
62回	2,153人

7 在宅医療・介護連携推進事業

1) 在宅医療・介護連携支援窓口の設置

地域の在宅医療と介護連携を支援するため、地域総合支援センターに相談窓口を設置し、医療や介護の専門職からの相談対応を行いました。

内 訳					相談総数
日常の療養生活の支援	急変時の対応	看取り支援	入退院支援	その他	
6件	0件	0件	5件	1件	12件

2) 多職種連携学習会の開催

医療・介護関係者が、連携における課題について学び、相互理解を深めることや、顔の見える関係づくりを行うことで、在宅医療・介護の連携が促進することを目的に開催しています。

場 所	日 付	参加人数
明石市立市民病院	12月1日	52名
明石医療センター	1月29日	45名

3) 推進研修会の開催

介護支援専門員等の在宅支援に携わる専門職が高齢者に多い疾患等の知識を得て在宅支援に活かすことを目的に開催しています。

講 師	日 付	参加人数
明石市医師会	10月10日	61名
明石市医師会	11月6日	57名
明石市歯科医師会	11月27日	38名

4) 在宅医療・介護連携推進会議の開催

明石市医師会から本事業に対する意見を聴取するために年1回開催しています。

8 共助の基盤づくり事業

地域の高齢者が主体的に担い手となって取り組む支え合い活動を支援するとともに、その担い手となる活動者の養成を行いました。また、社会福祉法人と協働し中間就労の場づくりを実施しました。

1) はじめての地域活動講座の開催

地域での福祉活動等を推進する福祉人材の不足から、ボランティアグループをはじめ小地域福祉活動の担い手の育成として、「はじめての地域活動講座」を開催しました。

場 所	日 付	参加人数
二見コミセン	9月20日	11名（4名が活動へつながる）

2) 就労の場づくり

若者サポートセンターと連携し、社会との接点が途切れている方に対して福祉施設でのボランティア体験に参加できるよう社会福祉法人の協力を得て取り組みました。令和7年度は、応募者がなく未実施となりましたが、若者サポートセンター等で「介護に興味がある」「人の役に立ちたい」などのニーズを持つ方が把握できた場合には、随時連携を行いプログラムが実施できるよう連携を行いました。

9 多機関の協働による包括的支援体制構築業務

生活のしづらさを抱えた人や複合的な問題を抱える世帯などの相談をにしあかし総合支援センター市域事業担当が多機関協働事業として受け付け、事例の整理や各機関の役割分担、支援方針等について話し合い、継続的な支援を行いました。重層的支援会議等で整理した結果、必要なケースについては参加支援事業・アウトリーチ事業に繋ぎ、継続的な支援を実施しました。

また、8月には多機関協働事業ネットワーク会議を開催し、本事業の包括的支援事業や地域づくりの支援機関としての役割を相互に確認し、連携の在り方について協議しました。

内 容	合 計
多機関協働事業 評価会議（回）	10
多機関協働事業 新規受理件数（件）	9
参加支援事業 新規受理件数（件）	1

参加支援事業 延べ対応件数（件）	6
アウトリーチ 新規受理件数（件）	1
アウトリーチ 延べ対応件数（件）	10

上記の国基準による多機関協働事業以外に、地域総合支援センターでは福祉まるごと相談窓口として、複合的な課題を抱える世帯への支援をアウトリーチ等実施しながら6センターで延べ1万件を超えて行っています。

10 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

担当地区内の要支援1・2認定者や生活機能の低下している高齢者を対象に、身体機能の強化等により、介護状態となることへの予防を目的に、介護予防ケアプランの作成・評価を実施しました。また、法令遵守の徹底やケアマネジメント実践力の向上に向けて、職員研修や本会内部でのケアプランの点検を行いました。

1) 介護予防支援件数（令和7年4月～令和8年3月）

包括担当 給付件数	内 訳		一部委託 給付件数	内 訳	
	初 回	継 続		初 回	継 続
13,736件	285件	13,451件	28,209件	750件	27,459件

2) 介護予防ケアマネジメント（令和7年4月～令和8年3月）

包括担当 給付件数	内 訳		一部委託 給付件数	内 訳	
	初 回	継 続		初 回	継 続
7,088件	262件	6,826件	10,852件	427件	10,425件

地域総合支援センター事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月 31日

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	673,167,000	649,721,573	23,445,427
	居宅介護支援介護料収入	120,000,000	130,800,990	△ 10,800,990
	介護予防支援介護料収入	120,000,000	130,800,990	△ 10,800,990
	その他の事業収入	553,167,000	518,920,583	34,246,417
	受託事業収入	553,145,000	518,880,983	34,264,017
	その他の事業収入	22,000	39,600	△ 17,600
	受取利息配当金収入	1,000	0	1,000
	その他の収入	10,000	0	10,000
	雑収入	10,000	0	10,000
	雑収入	10,000	0	10,000
	事業活動収入計 (1)	673,178,000	649,721,573	23,456,427
	支出			
	人件費支出	599,573,000	585,216,798	14,356,202
	職員給料支出	364,589,000	356,401,937	8,187,063
	職員給料支出	250,265,000	242,791,562	7,473,438
	嘱託職員給料支出	5,000,000	4,880,921	119,079
	契約職員賃金支出	109,324,000	108,729,454	594,546
	職員賞与支出	142,226,000	141,128,468	1,097,532
	非常勤職員給与支出	1,920,000	1,905,776	14,224
	退職給付支出	4,994,000	4,993,009	991
	法定福利費支出	85,844,000	80,787,608	5,056,392
	事業費支出	21,332,000	20,107,043	1,224,957
	車輜費支出	2,948,000	2,881,959	66,041
	諸謝金支出	458,000	365,056	92,944
	旅費交通費支出	886,000	791,895	94,105
	印刷製本費支出	369,000	312,132	56,868
	通信運搬費支出	7,614,000	7,344,870	269,130
	会議費支出	137,000	76,415	60,585
	業務委託費支出	8,869,000	8,307,436	561,564
	手数料支出	51,000	27,280	23,720
	事務費支出	26,189,000	23,926,396	2,262,604
	福利厚生費支出	1,456,000	1,072,080	383,920
	職員被服費支出	160,000	139,370	20,630
	旅費交通費支出	219,000	59,570	159,430
	研修研究費支出	693,000	478,320	214,680
	事務消耗品費支出	5,982,000	5,662,587	319,413
	水道光熱費支出	1,420,000	1,379,247	40,753
	修繕費支出	150,000	116,870	33,130
	通信運搬費支出	44,000	43,074	926
	手数料支出	923,000	739,687	183,313
	保険料支出	2,127,000	1,907,386	219,614
	賃借料支出	11,193,000	10,609,918	583,082
	租税公課支出	1,491,000	1,407,987	83,013
	保守料支出	299,000	278,300	20,700
	諸会費支出	32,000	32,000	0
	事業活動支出計 (2)	647,094,000	629,250,237	17,843,763
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	26,084,000	20,471,336	5,612,664

施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出	固定資産取得支出	5,658,000	5,645,140	12,860
	車輜運搬具取得支出	3,330,000	3,318,800	11,200
	器具及び備品取得支出	2,328,000	2,326,340	1,660
	固定資産除却・廃棄支出	75,000	58,300	16,700
	器具及び備品除却・廃棄支出	75,000	58,300	16,700
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,180,000	2,175,096	4,904
	施設整備等支出計(5)	7,913,000	7,878,536	34,464
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 7,913,000	△ 7,878,536	△ 34,464
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	0	4,993,009	△ 4,993,009
	退職給付引当資産取崩収入	0	4,993,009	△ 4,993,009
	その他の活動収入計(7)	0	4,993,009	△ 4,993,009
支出	積立資産支出	18,116,000	17,531,409	584,591
	退職給付引当資産支出	18,116,000	17,531,409	584,591
	その他の活動による支出	55,000	54,400	600
	差入保証金支出	55,000	54,400	600
	その他の活動支出計(8)	18,171,000	17,585,809	585,191
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 18,171,000	△ 12,592,800	△ 5,578,200
	予備費支出(10)	0	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0
	前期末支払資金残高(12)	0	0	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0